

## 計画の骨子（計画構成）

### ●計画の名称 「志手原校区地域づくり計画」

※少子高齢化・人口減少時代を迎える中、いつまでも地域が元気で誰もが安心して暮らせる志手原校区を目指して、地域の将来像を明らかにすると共に、概ね向こう5か年の主な取り組み内容を示した計画とします。

### ●計画のまとめ方

#### 1. 地域の特性

- ・位置や地理的条件 歴史文化
- ・人口や世帯数 高齢化の状況等
- ・自然環境や産業
- ・地域運営の現状

#### 2. 地域の課題（地域の強みや課題）

##### （強み）

- ・優れた自然環境
- ・豊かな歴史や景勝地
- ・住民同士のふれあい

##### （課題）

\* 超高齢化による暮らしの困りごと

（・超高齢化 ・病院や買物が不便 ・地域交通 ・住民同士の支え合い ・災害への備え）

\* 少子化による活動家の不足や地域コミュニティの希薄化

（・人口減少 ・活動家の不足 ・ふれさと離れ ・協働や支え合い意識の低下）

\* 人口減少などによる地域力の低下

（・担い手不足 ・特色のない地域 ・農業の衰退 休耕田 ）

#### 3. 地域づくりの将来像

##### ◆基本理念

——住んでよかったと思える温もりのある地域づくり——

##### ◆取り組み姿勢

志手原校区が持っている豊かな資源や人材など優れた潜在力を生かしながら、地域住民の参画と協働による元気な地域づくりを進めます。

## ◆基本目標

### ①誰もが安心して暮らせる温かい地域

(検討内容)

志手原校区は、市内でも少子高齢化や人口減少が急激に進み、高齢化率は最も高い水準にあります。

高齢者の一人暮らしや夫婦世帯が増え、住民アンケート等では日々の暮らしに不安を感じる方が多く、「安心して暮らせる地域づくり」が地域の最重点課題となっています。

具体の困りごとは、病院や買物など生活の足（地域交通など）の確保や、地域で生活を支え合う仕組み、安否確認や引きこもり対策、災害への備えなどが多く、安全で安心な暮らしに向けた方策についての検討を進めます。

### ②住民同士で創る元気な地域

(検討内容)

地域を支える自治会や各団体の活動は、役員の高齢化や役員のなり手がなく、将来同様の活動を維持していくことが困難となりつつあります。

これからも安定して活動を維持していくためには、役員任せ、誰かがしてくれるではなく、みんなで支え運営する協働の地域づくりが必要です。

アンケートでは、将来ボランティア活動に参加してもいいと考える方も多く、地域を支える人材を生かす仕組み、活動家の育成と共に、情報の共有などにより、みんなが楽しく参加できる方策についての検討を進めます。

### ③地域の魅力を生かした自慢できる地域

(検討内容)

少子高齢化や人口減少により地域の力が低下していきます。

将来にわたり元気な地域を創るためには、多くの住民の参画の基で地域の魅力を高め、多くの方が訪れ住んでみたいと思う仕掛けが必要といった意見があります。

具体には、農業の振興や特産品づくり、休耕田の活用、地域の潜在的財産を活用した観光や豊かな自然の活用といった声が多く、地域挙げて取り組む共通目標が活力ある地域づくりにも生かされるため具体の検討を進めます。

### ④みんなで進める活動のしくみ

(検討内容)

以上3つの将来目標を実現するための取り組みとして、現状の地域運営（活動団体や行事等）の見直しや、具体の取り組みについて、いつ、だれが、どのように進めていくのかといった実践方法、これらを総括的に実行する地域づくり協議会の組織の在り方などについての検討を進めます。